

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所スペース		
○保護者評価実施期間	R 7年 11月 1日		R 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R 7年 11月 1日		R 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アンケート結果において、職員が共感的な姿勢で支援にあたっているとの意見が見られ、児童および保護者に対する丁寧で継続的な関わりが行われていることが示唆された。	日々の関わりの中で児童や保護者の思いに丁寧に耳を傾ける姿勢を大切に、必要に応じて時間外であっても状況確認を行うなど、継続的かつ柔軟な対応を心掛けている。また、職員間で情報共有を行い、一貫した関わりができるよう意識している。	共感的な関わりを個人の資質に依存させず、支援方針や行動指針として明文化し、組織全体で共有する。保護者アンケートや面談等を通じて、共感的支援がどのように受け止められているかを定期的に確認し、質の向上につなげる。職員研修において、傾聴技法やコミュニケーション技術を体系的に学ぶ機会を設け、対応力の底上げを図る。
2	ICTの活用やチェックリストの導入等を通して業務改善が図られており、日々の活動について全職員で振り返りを行う体制が整備されている。各専門職の視点を踏まえた意見交換を行いながら、継続的に支援内容の質の向上に取り組んでいることが示された。	ICTやチェックリストを活用して業務の可視化を図るとともに、毎日のミーティングで活動内容を振り返り、課題や改善点を共有している。多職種の専門的視点を取り入れながら支援方法を検討し、翌日以降の実践に反映させる仕組みを継続している。	PDCAの各段階を明確化し、「改善の目的・実施内容・成果」を可視化することで、改善の質をさらに高める。日々の振り返りに加え、月次・四半期末位での総括を行い、短期改善と中長期改善を整理する。職員の提案や改善事例を共有・蓄積し、組織としてのノウハウとして活用できる仕組みを構築する。
3	児童発達支援計画の作成にあたり、子どもおよび保護者の意向を確認する機会を設けており、意思表示が可能な児童には直接確認を行い、難しい場合には保護者からの聴取を通して最善の利益を尊重する姿勢が示されている。	計画作成時には、可能な限り児童本人の意向を確認する機会を設け、意思表示が難しい場合でも保護者から丁寧に聴取を行っている。子どもの最善の利益を常に意識し、家族との対話を通して支援目標を共有するよう努めている。	意向確認の方法を標準化し、確認内容やプロセスを記録として残すことで、支援計画の透明性を高める。子どもの意思表示が難しい場合の代替的手段（観察評価・ツール活用等）を整理し、より客観性を持たせる。計画作成後も定期的に意向の変化を確認し、柔軟に見直す体制を強化する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通信や情報発信は実施しているが、職員の氏名や役割が十分に共有されておらず、保護者への見える化に課題があることが示唆された。	職員数が多い中で、氏名や役割を保護者に分かりやすく伝える仕組みが十分に整っておらず、通信や掲示等での情報発信が限定的になっていることが要因の一つと考えられる。	通信やホームページ等を活用して職員紹介や役割を分かりやすく発信するとともに、職員の氏名と資格一覧の掲示など日常的に氏名が確認できる工夫を行い、保護者の安心感につなげていく。
2	第三者による外部評価を実施していないとの意見があり、客観的視点を取り入れた業務改善の仕組みが十分に整備されていない点が課題として示唆された。	第三者による外部評価を実施する機会や体制が確立されておらず、業務改善に外部の視点を取り入れる仕組みが構築されていないことが要因として挙げられる。	第三者による外部評価の導入を検討し、評価結果を職員間で共有することで、客観的視点を踏まえた業務改善につなげる仕組みづくりを進めていく。
3	保育所等訪問支援を利用している場合には情報共有が図られているものの、未利用の場合の連携状況が十分に把握されていないとの意見があり、関係機関との情報共有体制の明確化に課題があることが示唆された。	保育所等訪問支援の利用有無により情報共有の方法が異なっており、関係機関との連携や移行支援を一貫して行うための共通ルールや体制が整理されていないことが要因と考えられる。	保育所等訪問支援の利用有無に関わらず、関係機関との情報共有方法や連携手順を整理し、園生活の状況を踏まえた一貫した移行支援が行える体制の構築を図っていく。

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	多機能型通所支援事業所スペース
------	-----------------

公表日 R 8 年 2 月 2 0 日

利用児童数 39

回収数 27

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2	1	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	4	0	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	1	1	2		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	2	5	3		
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	2	10		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	25	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	5	0	3		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1	0	1	お休みの日も行事を見に来てくださったり、ありがとうございます。	行事等にお邪魔してしまい、恐縮です。本人の成長などを見られる貴重な場面なので、また機会があればお伺いさせていただきたいです。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	12	7		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	0	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	0	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	0	5	職員との多く、名前や氏名（言語聴覚士さん等）がわからず、どの目線で子供を見ているのか気になります。職員紹介みたいながあると嬉しいです。特に問題があったわけではありません。たくさんスタッフさんに見ていただき、感謝しています。 ※職員の名前を完全に覚えていないので、名前の記載されたものを指摘いただき、ありがとうございます。胸のネームプレートは児童が触ったり、ピンが外れるなど事故が予想されますので、職員紹介などを事業所として実施できるように、形態等についてこれから協議を行ってまいります。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2	0	4		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	1	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1	0	9		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	9	怪我等はまだした事がない。	怪我等がないよう、最善の注意を払って支援を提供していきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	2	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	3	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型通所支援事業所スペース				公表日	R 8年 2月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	適切な関係だと思う		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	個別でもまた対応できている。 適切ではないと思うことがある 専門の資格者等も含めて充分に対応出来ている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	視覚的なサインやある程度構造化された空間で支援を提供出来ている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	定期的な清掃や備品の消毒などを行なっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別室を使用してクールダウンを行ったり、言語訓練などを実施している。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	IT化やチェックリストの活用などで、業務改善されている 毎日、その日の活動を出動している職員全員でミーティングし、次回以降の課題や各専門職の意見を参考にしながら支援を提供している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	頂いた意見について、ミーティングで議題に挙げ、PDCAを行なっている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員に対して定期的なアンケートとメンターによる面談、公認心理士による相談窓口などを設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	外部評価をおこなっていない	第三者評価の選定や導入など、事業所内で検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	研修への参加の補助がある。 事業所内研修スケジュールを作成し、実施している 他、施設外研修についても法人で研修費や交通費、宿泊費などを全額負担しながら、積極的に研修を受 従業員でカンファレンスを行っている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムをホームページ上で公開しており、定期的な見直しも行なっている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	標準化されたアセスメントなども活用しながら、専門職の強みを活かした分析と計画の作成を行なっている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	カンファレンスや日々のフィードバックを行っている。 支援会議を出動している職員が全員参加する体制を整えており、充分に検討を重ねている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画から逸脱しないようにミーティングで確認する他、専門支援計画なども立てており、職員が計画を意識して支援を行う体制作りを行なっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	WISC-V等のフォーマルなアセスメントを行なっている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	5領域全ての支援計画を立て、実行している。		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	様々な専門職が意見を出し合っている。支援会議を通し、計画案の修正などをそれぞれの職員が意見を出し合って立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	話し合いを行いながらプログラミングを立案している。毎日のミーティングで活動のアイデアを出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別、集団活動を本人の発達段階やニーズに応じて適宜提供している。ニーズや課題に応じて偏りは見られる場合がある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援会議を行い、情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日フィードバックを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日、児童それぞれの記録を作成し、時系列を追って成長を確認できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的なモニタリングを行い、計画の見直しを行なっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者、担当の保育士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理士などが参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保育者等訪問支援などを通じた連携、計画書や支援経過の共有などを行い、必要に応じて園とミーティングを実施している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保育所等訪問を利用している場合は出来ていると思うが、そうでない場合はわからない 園生活での児童の現状を確認しながら、移行支援の観点を持ち、支援を提供している。	スタッフによって移行支援や併行利用の認識にずれがある部分などもある。ミーティングで全スタッフが児童の意向に向けた支援の状況などを把握しやすいように、支援会議の開催日程を職員の出勤の多い日に設定していくなどの申し送りだけでなく、対面での参加率などを向上させていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	移行支援会議に参加している。 移行支援シートを用いた情報共有、担当者会議や連携会議で児童の情報を対面で引き継いでいる。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	わからない 児童発達支援センターの主催する研修への定期的な参加などを行なっている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	公園などは利用するものの、交流は少ない	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	事業所内相談を適宜行っている。 家庭での様子も保護者から聴取しながら、発達の課題などについて共有理解を持つようになっている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	情報提供のみとなっている 家族が言語療育に参加し、家庭でどのように関わることができるかを支援者が実践を交えながらペアレントトレーニングを行なっている。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	保護者の理解度を確認しながら内容説明を行い、同意を得るようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	コミュニケーションを図ることができる児童については、直接確認しながら、難しい場合は保護者から聴取し、子どもの利益を尊重するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	説明と同意を行なっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	事業所内相談などを提供しながら、相談事があればいつでも対応出来るように体制を整えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	LINEなどで気軽に相談でき、かつすぐに返答できる体制などを整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	今年度からアプリの利用を開始した。LINEや連絡アプリを使用している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	十分に留意している。	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	コミュニケーション拡張ツールなどを必要に応じて提供している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	計画はしている	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に訓練を実施している。児童参加型の避難訓練などを実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPの策定と定期的な見直し、訓練を行なっている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	相談事業所からの事前情報だけでなく、保護者にも確認を行なっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食事の提供はしていない、わからない 飲食物の提供は基本的に行わないが、アレルギーの有無は確認している。 食事の提供がないため保護者からの情報提供のみになっている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画に沿って研修、訓練などを行なっている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	児童を巻き込んだ避難訓練などは児童にお知らせなどを行なっている。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを作成、委員会で事案を検討し、再発防止策を設けるようにしている。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止の研修を全職員に行い、虐待防止委員会で定期的に事案を見直している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	身体拘束を行うことがない 身体拘束に該当する項目の説明などを十分に説明し、同意を得ている。		